

事務事業名	河川環境整備事業	整理番号	25402-000
所 管	土木課工事スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 12年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 2-5 防災体制の充実 政 策 2-5-4 環境共生型の治山・治水	関連政策	

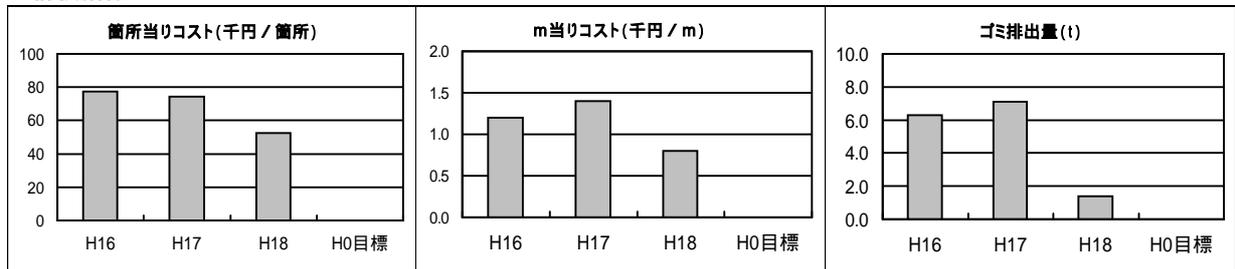
事務事業の内容

目的 (何のために)	河川的环境・美観を快適な状態に保つとともに、その機能を維持すること。
対象 (誰・何を)	市管理の主要な普通河川及び沿線の住民。
手段 (どのようなやり方で)	市建設業組合に委託し、河川内外の草木やゴミの除去及び河床を整理する。
成果 (どのような状態にしたいか)	河川的环境や美観が快適な状態になり、機能も維持できる。
事務事業の背景・住民の意向	沿線住民から、河川的环境面整備の要望が多い。また、防災面からの対応を求められている。
見直し改善の経過	平成12年度以前は住民からの要望箇所だけを整備していたが、平成12年度から建設業組合に委託することにより線的な整備が出来る様になった。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	6河川 52箇所 L=3,260m	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p> <p>16年度 17年度 18年度</p>
平成17年度	6河川 54箇所 L=2,780m	
平成18年度	6河川 56箇所 L=3,580m	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	草木・ゴミ等が除去され河川環境が良くなる。	継続
	有効性		
	効率性		
一次評価	B		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	沿線住民と市との協働化を推進されたい。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	計画により、順次整備を進める。
平成20年度以降の対応	計画により、順次整備を進める。
改革により予想される成果	効率的な河川環境整備が出来る。